

反捕鯨団体シーシェパードによる妨害活動（第9報）

平成 22 年 2 月 6 日
財団法人日本鯨類研究所

反捕鯨団体シーシェパード所属船ボブ・バーカー（BB）号（トーゴ船籍）は、日本時間 2 月 6 日 13 時 10 分、第二期南極海鯨類捕獲調査（JARPA II）船団の第三勇新丸（YS3）に酪酸瓶を投擲しようとして急接近し、これを避けようとした Y S 3 の船尾に接触した。

日新丸からの報告によれば、2 月 6 日未明に日新丸付近に現れた B B 号は、同日正午頃まで日新丸の船尾数 10m まで異常接近して、高出力の緑色レーザーの照射を繰り返していた。調査船団側は、速力で優る Y S 3 と他の船で B B 号を牽制し、日新丸と B B 号との間に安全な距離を確保しようとしたところ、B B 号は調査船団の Y S 3 の左舷に急接近して酪酸瓶など多数を投擲した。Y S 3 は衝突を避けるために右に舵を切ったが、B B 号の右舷が Y S 3 の左舷船尾に接触した。Y S 3 の被害はハンドレール及び外板が曲損した軽微なもので、B B 号側の損傷程度は不明。

B B 号は Y S 3 と接触後も、大型の投擲器（スリングショット）を持ち出して調査船団所属の第二昭南丸（S M 2）に対して多数の酪酸瓶を投擲した。酪酸瓶の大半は海没したが、このうち少なくとも 10 発程度が S M 2 甲板に着弾した模様である。これまでのところ、調査船団各船の乗員に被害は出ていない。

（以上）